

令和7年度

感染症危機管理リーダーシップ研修【長期】

寄稿 危機管理・運営局 企画調整部 上級研究員 佐藤 瞳

10月

対面研修

地域の感染症危機においてリーダーシップを発揮する人材に必要な知識の深い理解・定着を促すことを目的として実施

自治体 OJT（神奈川県）

10月1日より、神奈川県でOJT(On-the-Job Training)が開始されました。研修生は、神奈川県庁や保健所だけでなく、川崎市健康安全研究所や横浜市健康安全課でも研修を受けました。また、今回は滋賀県からの研修生もOJTに参加しました。神奈川県の体制を学ぶと同時に、滋賀県における人材育成の取り組みについて発表を行いました。



神奈川県健康医療局長 兼 未病担当局長 足立原崇氏との意見交換



10月3日 川崎市保健所（左奥が研修生）



10月23日 秦野センター（左奥・右奥が研修生）

外部講義

外部講師による感染症危機の事例やリーダーシップに関する講義とグループディスカッションを実施

「感染予防」

講義では、最新の感染症対策の動向が示されました。「飛沫感染」「空気感染」という用語は今後数年で使われなくなる可能性があり、「空気を介する伝播」という新たな概念への移行が



講師：矢野 邦夫 先生
（浜松医療センター 感染症管理特別顧問）

厚生労働省委託事業として、感染症危機管理の領域で リーダーシップを発揮できる人材を育成するための研修を実施しています

Web サイトは
こちら



JIHS では、厚生労働省委託事業として、公衆衛生行政、医療提供体制、感染症疫学や臨床等に関する専門的な知見や経験を有する既存の多様な職種の感染症専門人材に対し、地域における将来の感染症危機への対応においてリーダーシップを発揮する人材として、感染症危機管理に必要な多様な分野横断的な知識やスキルの修得や維持・向上を図ることを目的とした研修を実施しています。今回は、令和 7 年度 4 月から開始された長期研修の 10 月の様子を紹介します。



見込まれています。換気を施設責任の中核とし、階層構造に基づく対策の重要性が示され、研修参加者は国際的な最新動向をいち早く学ぶ機会となりました。

学会 総会

日本公衆衛生学会総会において、感染症危機管理リーダーシップ研修事業の説明と意見交換を実施

2025/10/29 (水)
18:40~20:10

第 84 回 日本公衆衛生学会総会

第9会場：グループワーク (904) + Web
Web参加者は事務局にメールにてご連絡ください。URLをお知らせいたします。

自治体職員対象 感染症危機管理リーダーシップ研修 事業の紹介と実践事例

進行：和田利枝 (JIHS)

- ・ 開催の挨拶：厚生労働省
- ・ 趣旨説明：齋藤智也 (JIHS)
- ・ IDCL 概要説明：佐藤隆 (IDCL事務局)

・ 基調講演：藤田利枝 (全国保健所長会)

・ 令和7年度IDCL (長期) 研修生より

・ 小林元本 (奈良県)・高岡美穂 (神奈川県)

・ 佐藤隆 (全国保健所長会)・令和6年度IDCL (短期) 修了生

・ 堀田浩大 (長野県)・阿部礼以恵 (横浜市)

・ 木村智久 (新潟県)

・ 質疑応答・質疑 + Web から

・ フォトリテーター：令和6年度IDCL (短期) 修了生

・ 田邊裕 (名古屋市)・丸山崎 (川崎市)

・ 閉会の挨拶：齋藤智也 (JIHS)



第 84 回日本公衆衛生学会総会 自由集会

10 月 29 日、第 84 回日本公衆衛生学会総会 自由集会「感染症危機管理リーダーシップ研修事業の紹介と実践事例」を開催しました。約 40 名（オンライン含む）が参加し、開催の挨拶を厚生労働省感染症対策課小澤主査、趣旨説明を JIHS 齋藤智也先生、基調講演を全国保健所長会の藤田利枝先生、実践事例を令和 7 年度長期研修生及び令和 6 年度短期修了生の計 5 名が行い、その後、令和 6 年度短期修了生のファシリテートのもと、闊達な意見交換が行われました。



自由集会参加者集合写真



令和 6 年度 IDCL (短期) 修了生